



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆は私が思っている以上に恐いものだと  
思いました。原爆が爆発したことで、人の皮膚が  
はがれたり、建物が一瞬で灰になったり、それが  
自分の身に起こったと思うと、恐怖で何も考えられ  
なくなります。そんな中で、池田義三さんは、死体を  
運んだのはすごいと思いました。原爆の爆発の熱  
さが、太陽よりも熱い7000℃だったこと、原爆を  
投下するのに候補になった都市に京都が入ってい  
たことを知って、驚きました。今いろんなところで紛  
争や戦争などが起きていることをニュースで見  
たことがあります。大人や子供がミサイルやじゃ  
などの兵器で命を落としています。もし戦争中  
の国に原爆が落とされると、多くの命がうばわれ  
てしまいます。そのようなことを二度と起こさせ  
ないために、原爆先生のように原爆のことを世  
界中の人たちに知ってもらう必要があると考えま  
した。核兵器で多くの命がうばわれないでほ  
しいのと、みんなが仲良くなれるように、原爆の  
資料館に行ったり、国どうしの関わりについても、もっと



原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

私は原爆先生の特別授業を聞いて、私が思っていたよりも、さらに原爆がおそろしいことを知りました。原爆先生の話を聞く前は「原爆が、こわいな」とけっこう軽い気持ちでした。でも話を聞いているうちに、全身の血の気がサーッとぬけていく感じが来て、「なんでこんなにおそろしいことを簡単にわかってしまうのだろうか」と軽い気持ちで原爆先生の話を聞いたことを強く後悔しました。そして、私は人ってこうも簡単に息を切ってしまうのか、建物もこうも簡単にくずれてしまうのか、私は今自分がこうして安全に生きて、建物もがんじょうで幸せに生きていける日本に生まれてきてよかったと思います。原爆先生の授業後、「はだしのゲン」という原爆のアニメを家に帰ってから見てみました。そこには原爆ドームも映っており、犬がすぐにとけてはまっていたり、赤ちゃんを守るうとする母親の姿を見て、私はわわがわわと苦しくなって、少し泣いてしまいました。私は私たちだけではなく、小さな子供たちにも、原爆のおそろしさを教ってもらいたい、原爆を多くの人たちに知ってもらいたい。そして、私ももっとも、と原爆について知りたいと思いました。原爆先生来てくださって本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

まず最初におどろいたことは、原爆投下都市の候補が6つもあったということでした。広島、長崎は、原爆が投下されたことで知っていましたが、新潟、小倉、京都、さらには東京に近い横浜の4つも候補にあがっていたということにおどろきました。それからその6つの候補で京都が一番すすめられていましたが、文化財があるなどの理由から候補から外れたそうです。そして広島は「原子爆弾投下都市の条件」がすべて当てはまり、風向も良かったため、広島に原爆を投下することが決定しました。その後長崎も決定しました。ぼくは、原爆を広島と長崎に投下するまでにこんなにいるんなことがあったんだなと思いました。この特別授業で学んだことはたくさんあるので、何かに生かされたらいいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

2/12

原爆先生の授業を通して原爆の被害を受けた人々はとても大変だったのがよく分かりました。原爆先生のお父さんは、21歳にも満たない17歳という若さで班長になるなんてすごいと思いました。僕はこの立場になった時逃げ出してしまうかもしれませんが。原爆を投下するのに条件があるのもおどろきました。直径5kmをこえる事、平野である事、そして空襲がなかった事、僕が一番おどろいた事は、天候によって原爆を投下する所を変える事です。でも、どうして原爆を投下する第一候補が広島なのか疑問に思いました。投下された原爆は、地上で爆発していないのに地上には3000℃の熱がくるなんて、考えてみるととても怖いなと思いました。それに、表面温度が太陽よりも高い物が、地上600mの所にあるなんておどろきよりも恐怖の方が勝つと思います。この時代

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

の人達はとても苦労したという事をととても感じました。



原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

ほくは、原爆先生の話<sup>な</sup>を聞いて、こんなことがあったんだな<sup>な</sup>と<sup>な</sup>思いました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」が約470mあり、3.12mの長さだったとにおどろきました。

一番おどろいたことは、「リトルボーイ」が爆発したときの周りが太陽の表面より、1000℃も熱い、2000℃の熱<sup>な</sup>だったこと<sup>な</sup>です。原爆が、広島に投下されたときに、広島市人口(35万人)の40%も亡くな

ったこと<sup>な</sup>も、とても悲しいと思<sup>な</sup>いました。それ以外にも新しく知<sup>な</sup>ったこと<sup>な</sup>が、たくさんあり、日本の歴史のこと<sup>な</sup>が、もっと知<sup>な</sup>れたと思<sup>な</sup>いました。

原爆先生<sup>な</sup>の授業で、日本の歴史を、もっと知<sup>な</sup>りたくなりました。話<sup>な</sup>してるときに、クラスのみん<sup>な</sup>なが、真剣に聞<sup>な</sup>けてたからよかったと思<sup>な</sup>ったし、ほくも、その90分<sup>な</sup>に、これ<sup>な</sup>まで<sup>な</sup>の知<sup>な</sup>った日本の歴史<sup>な</sup>を、おぼえて学<sup>な</sup>びたと思<sup>な</sup>いました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

原爆がおそろしいことは知っていましたがもっとおそろしいことを記述で感じました。死亡率が40%で14万人の人が亡くなってしまっているのが悲しくなりました。原爆の「リトルボーイ」が上空600mで爆発したら地上は3000℃という温度におどろきました。600mは東京スカイツリーの第2展望台ぐらいの高さで周りの温度が大陽より熱い7000℃になることもおどろきました。候補になた都市で広島、小倉、長崎、横浜、新潟、京都の中で一番京都がいいと言われていたことにおどろきました。原爆先生に孝文を書いていただけたことが本当にあったことなんだなと思うとすごく原爆がおそろしいことを記述で感じました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/2

ぼくは原爆先生のお話しを聞いて、原爆はとてつよいものだぞと知りました。最初原爆先生のお話しを聞く前は、原爆のことをよく知らず、ちょっと大きな爆弾だぞと思っていました。でもぼくの想像とは、はるかに違い原爆とはものすごく破壊力の強いものだぞと知ることができました。広島市人口35万人の内の被爆者数24万人で70%の人が亡くなったというすごい割合でおどろきました。もう一つおどろいたのは、高い温度のことです。7000℃もあるものが上空にあがっている地上では3000℃というとても熱い温度で被爆者の人たちは、とてもつらかったと思います。原爆先生、原爆のことを教えていただきありがとうございます。

ございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/10

僕は原爆先生の特別授業を聞いて、戦争はものすごく恐ろしいものであり、絶対にしてはいけない、それを改めて感じました。今までの12年の人生の中で、戦争は恐ろしい、戦争は多くの人の大切なものを奪う。戦争はもう二度あってはならない。そのことはたくさん聞いてきました。授業でも戦争は恐ろしい。と習い、僕もそう思っています。しかし、原爆先生のお話のよさを実際に体験した人の日記を基にした本について全く知りませんでした。今日、その話を聞いてものすごく悲しくなり、涙が出てきそうになりました。被爆者の様子が目をつかんで、もし自分がその場にいたら、と思うと怖くてなりません。そして、僕の想像をはるかに超える辛さや苦しさを味わってお亡くなれた方が、広島市だけで14万人もいるということには、今日初めて知ったわけではななくても関わりなく、大まかに驚きと怒りさえ覚えました。それぞれが、自国の利益だけを考え、多くの被害を生んでいく戦争は絶対にあってはならないということは全世界で唯一、原子爆弾による被害を受け、自国も多くの国に被害を与えた日本の国民からこそ、分かることであって、分からなければなりません。だと思えます。もう二度と戦争など起こさず、原爆など

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> [post@hiroshima9.com](mailto:post@hiroshima9.com)

使われない平和な世の中にするために、世界中の人たちで、じっくり話し合っていく必要があると思いました。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

2/12

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して初めて  
知ったことがたくさんありました。

私が一番びっくりしたことは、直径200mの原爆  
が上空600mの所で爆発したということです。  
その原爆は7000℃もあり、中心地は、100万℃に  
およびます。その原爆の熱を浴びた人たちは、す  
ごくうらかったと思います。次に私がびっくり  
した事は、原子爆弾投下都市に条件がある  
ことです。この言を聞くまで私は条件があるこ  
うことを知りませんでした。その条件の一つ目  
は、直径5kmをこえるとても大きな都市ではない  
といけない。二つ目は、平野であること。(平  
らな平野の面がないといけない)。三つ目は、空襲  
がなかった。いままで一度も空襲がなかった。こ  
うことでした。この3つの条件がある。ということを知  
りました。そして、その候候補になった都市の第1候  
補は、広島第2候補は、小倉第3候補は、長崎  
だったという事も知りました。最後に、私は、原



# 原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して、とてもたくさん  
の事を知れました。今日、学んだことを今後の  
生活にも生かせるなと思いました。そして、  
この話を聞いた後、戦争空襲への考え方が少し  
変わった気がしました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

2/12

私は原子爆弾の温度が約1000度もあることにおどろきました。太陽が約6000度なので、自分と600mしかはなれていない所に太陽よりも1000度も熱いものがあるなんて想像しただけでも、とてもこわいです。

また、こんなにもこわい原子爆弾が3.12mくらいのサイズだったことにもおどろきました。重さは約4トンありますが、もと大きいと思っていました。約3mの爆弾で多くの人の命がうばわれたのはとても悲しいです。

原子爆弾で亡くなった人は一瞬で消えてしまっただ人も全身がやけどしてしまって死んでしまっただ人もいますが、どちらも戦争をしていなかったら決して命を落とすことはなかったはずなんです。そう思うと戦争は絶対にやめてはいけないと改めて思いました。

今、戦争のことを語れる人はだんだん少なくなっています。教えて下さった話を私たちが他の人にも伝え、語りついでいこうと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を<sup>じゅこう</sup>受講して

表

2/12

原爆が8月6日に広島、8月9日に長崎に原爆が投下されたのは、知っていたけどあまりくわしく知らなかったから原爆についてよく知れて良かったです。

原爆は、3.12m、約47mあって思っていたよりすごく大きくてしかもそれが9632mから300kmで広島にまわってくるからびっくりしました。原爆が爆発したときの温度は中心が100万℃でまわりが7000℃600mはなれた地面が3000℃ですごく高くてびっくりしました。まわりの温度が太陽のまわりの温度より約1000℃くらい熱いので原爆のすごさがよくわかりました。熱線と衝撃波と放射線が人口の70%が放射線を浴びた40%の人が死んでいたのだから原爆がすごくおそろしいことがよくわかりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

3/2

私は、義三さんが戦争中どんな思いで、  
亡くなった人を運んだり、救済したのかがよく分  
かりました。他にも、京都を原子爆弾投下の  
都市を外すくらいなら、もともと、原子爆弾を  
投下しなくてもよかったのではないかと思いま  
した。どれだけの人の命をうばうのか、分か  
ていて行ったことだと思ったので、残こたし、  
亡くなった人の苦しさやつらさも、自分が感じ  
たことがないほどの事だったと思います。  
また、「エノラ・ゲイ」という爆撃機の名前  
について、なぜ、その名前したのかを知りたい  
と思いました。チベットたいさのお母さん  
の名前をなぜ使ったのか、疑問に思  
いました。最後に義三さんが、原爆が投下さ  
れた時、ドラム缶の後ろでトラックを待  
っていて良かったと思いました。戦争の  
時、義三さんが広島へ行ったから、原  
爆先生の授業で分かった事や知る事がで  
きた事もあるのでそのことを一生忘れないようにしようと



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

私はもともと原爆や戦争がとても悲さんであることは学校で教科書を見たりなどして矢口っているつもりでいしましたが実際に原爆の被害にあい戦争を体験していた人からのお話を聞いたり当時の町の様子などの画像を見たことにより、原爆投下後の人々の苦しみがよりリアルに伝わってきました。それに、町中で苦しみを続けているたくさんの人から助けを求められて救助してあげたくてもできなかった人の悲しみや、原爆による放射線のせきつにより、今も病気で苦しんでいる人がいると知り一つの原爆によって多くの人の命がうはわかれて何十年もたった今でも多くの人を苦しめているのだなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

2/12

原爆先生の特別授業を受けて改めて、原爆の怖さや、兵隊さんの苦勞などをものすごく知れました。

私も原爆の怖さは、知っていたのですが、兵隊さんの苦勞や原爆が落とされた時の状態や、原爆が落とされた場所などをくわしく知らなかったのので、この機会にいろいろな原爆のことを知れて本当に良かったなと思いました。

それから原爆資料館の中にあつた女性がかうでを前にたれ下げ"ていたところが私は怖かったですがあれても「きれいすき"る"と思うとすごくおどろきました。

原爆のことをたくさん学べて良かったです。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特<sup>じゅこう</sup>別授業を受講して

表

2/12

ぼくは、原爆のすごさとこわさを改めて  
知ることができました。原子爆弾を初めて  
知った時は1kmぐらいをドカーンと吹き飛ば  
すだけだと思っていました。今回の  
特別授業を受講して、3kmもはなれていても  
原爆に被爆してしまうと知り、とてもおどろきました。  
それと、仮に原爆の衝撃波や熱風から身を  
守れても、放射線の影響でたくさんの病気に  
かか、て長い間苦しみを売けることになってしま  
うことも初めて知り、とてもこわいなと思いま  
した。そんな地獄のような場所では、必死にな  
って焼けただんだん運んでいた義三さんとその部下たちは  
本当に不幸で精神の強い人だ、たんだなと思いま  
した。ぼくだったら絶対おかしくなっています。だから、  
も、と強い精神を抹、ていざという時に備えたいです。  
原爆先生、今回は原爆のこわさと人間として  
大切なことを教えてくれてありがとうございます。  
います。





名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して<sup>じゅこう</sup>

表

2/12

私は、広島に原子爆弾が落とされた時のことについては、  
沢山の被爆者ができるほどひどかったくらいしか知りませんでした。  
しかし、原爆先生に原爆が落とされた時の様子を詳しく教  
えてもらい原爆の恐ろしさを知ることができました。

原爆先生の授業は何かが驚きでしたが特に驚いたこと  
があります。それは、原爆が地上から600mはなれた所  
では100万と太陽より熱いということです。太陽より  
も熱いものが落ちてくるのを想像したら恐ろしくなりました。  
それから、原爆で皮膚がはがれている人達の手をとって  
助けていた義三さんがすごいなと思いました。私だったら  
皮膚がはがれている人達を見たら怖くなってしまおうと思  
います。また、資料館に行った義三さんが被害にあっ  
ても助けを求めて歩く人達の像を見た時、結構けががひ  
どかったのに、「キツイすぎる」と言ったことも驚きました。  
今回の原爆先生の授業で原爆の恐ろしさや、もうこ  
のようなことはなてはならないという事を深く心にきざ  
ることができました。ありがとうございました。



# 原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

2/12

僕は最初どんな話をされるのかとても気になっていました。そしてこういう話をされるのは絶対だろかなと思っていたこともありました。その中で「話されてビックリしたのが太陽よりも原子爆弾の方が熱く燃えやすいということに一番おどろきました。そして当時広島と長野県に投下された原爆で亡くなった人と今も放射線に苦しんでいる人たち、家をなくしたり家族が被害にあった人たちはほんとに可哀想だな」と思いました。そしてこの授業で覚えたこともあります。それは当時の広島に投下された原爆の情報は、その名はリトルボーイです。衝撃波の速さは毎秒440m、死亡率が40%ということ、被災者数が24万人を超えたこと、5人に2人は死者が出てしまうということ。そして原子爆弾投下都市の条件もです。①直径5kmを超えるということ、②平野であること、③空襲がなかったことなどの条件があることを知りました。そして思ったのが「これからも空襲がこないといいな」と思いました。